

平成27年度地域づくり表彰事例の概要

団体名 (都道府県名・市町村名)	活動の概要	お問い合わせ先
<p>竹田の里づくり協議会  (福井県坂井市)</p>	<p>少子高齢化と過疎化が進展する中、竹田地区を「しだれ桜」の名所にする事で、まちの賑わいを取り戻そうと、地道に植栽や手入れを行った結果、平成4年には60本だった「しだれ桜」が現在では700本にまで増え、桜の開花シーズンには数万人規模の観光客が訪れるなど、同地区を一大観光名所にまで育て上げた。 竹田の里づくり協議会では、この桜を活かしたイベント「竹田の里しだれ桜まつり」の企画・運営はもとより、当該イベントの開催に併せて、手作り民芸品の販売や民芸品の加工体験イベントを開催するなど、活動の幅を広げてきている。 また、異世代間の交流を促進するためのイベントの開催をはじめ、地域の自然を活かした体験学習や運動会等も実施しており、地域住民の健康づくりや交流促進といった面でも大きく貢献している。</p>	<p>坂井市 企画情報課  0776-50-3013</p>  <p>竹田地区に咲き誇るしだれ桜の様子</p>
<p>天の川実行委員会  (奈良県高取町)</p>	<p>高取町の主要産業であった製薬・売薬業が衰退し、高齢化率も30%を超えるなど、地域を取り巻く環境が厳しさを増していく中、退職した高齢者を中心に、行政に頼らないで地域の活性化に取り組みようと、平成18年に団体を設立。 昔から各家庭で大切にされてきた雛人形を、町家で一般に公開する「町家の雛めぐり」を平成19年に初めて開催して以降、常にその内容に工夫を凝らし、現在では数万人規模の観光客が訪れるほどの一大イベントにまで成長させた。 また、大学と連携し、地域に残る歴史遺産を活かしたオブジェ制作等への協力ほか、城下町特有の地域資源を活かして自ら映画を制作するなど、活動範囲は多岐にわたっている。 これらの活動により、観光交流人口の増大はもとより、高齢者が観光客と交流することによる高齢者の「居場所」の確保や地元商店街の活性化等にも繋がるなど、多方面で大きな成果を上げている。</p>	<p>高取町 まちづくり課  0744-52-3334</p>  <p>「町家の雛めぐり」の様子</p>
<p>庄原市高野地域づくり未来塾  (広島県庄原市)</p>	<p>中国横断自動車道の開通を地域活性化のチャンスと捉え、道の駅で販売する特産品の開発や、庄原地域を回遊してもらうための仕組みづくりの開拓を目的に、平成20年に団体を設立。 地域の特産品である「漬け物」をはじめとする地場産品を、道の駅を拠点にして売り出そうと始めた「高野の逸品100プロジェクト」は極めて好評で、農家や加工業者の所得向上に結びついたばかりでなく、雇用の創出も生み出した。さらに、高齢者の生きがいづくりにも貢献するなど、多方面にわたり顕著な成果を上げている。 また、着地型観光については、これまでの取組の中で、平成27年度からは、民泊農家や体験メニュー提供者等で構成される協議会と連携し、教育旅行の本格的な受入れを予定するなど、今後の活動の更なる発展が期待される。</p>	<p>庄原市 高野支所 産業建設室  0824-86-2113</p>  <p>「高野の逸品」パンフレット</p>
<p>NPO法人 久留米ブランド研究会  (福岡県久留米市)</p>	<p>平成17年の市町合併後、新市として特徴ある産品や土産物が特定しづらいといった状況を踏まえ、九州新幹線鹿児島ルート全線開通を契機に、久留米のブランド力向上に向けた活動を展開することを目的に、平成24年に団体を設立。 市民自らが、観光客を受け入れるための着地型体験旅行プログラムを企画し、自らがその企画内容に沿って観光客をもてなすイベントである「久留米まち旅博覧会」は年々参加者が増加し、現在では、官民を含め120以上の団体が自ら考えた企画を提案するなど、市民の間でこのイベントが浸透している。 また、イベント参加者のニーズ分析を踏まえ、地域資源を活かした新たな特産品の開発に結びつけるなど波及的な成果も上げている。 さらに、一連の取組を通じて、新市の一体化、郷土愛の醸成、地域の魅力・誇りの再発見にもつなげるなど、著しい成果を上げている。</p>	<p>久留米市 観光・国際課  0942-30-9137</p>  <p>「久留米まち旅博覧会」パンフレット</p>
<p>NPO法人 穎娃おこそ会  (鹿児島県南九州市)</p>	<p>地域経済の衰退による就労人口の流出や少子高齢化、地域産業の後継者不足等の課題を克服するために、観光による地域活力の創出を目指して活動を開始。 多くの地域資源に恵まれながらも、観光通過点で観光客がほとんど訪れることがなかったため、まずは地域に埋もれている資源を再発見するところから始め、それらを有機的に結びつけることで観光客が回遊しやすい環境整備を進めるといったコンセプトの下、散策マップの作成や各種イベントの開催をはじめ、民泊や体験学習の受入れ、新たな特産品の開発など、多角的な取組を展開している。 これらの取組の結果、現在では観光スポットとしての認知度も高く、市民の郷土意識の醸成にも寄与している。さらに、一連の活動を通じて、各種団体と市民、行政との連携が密になり、連帯感も強くなるといった面での効果も現れており、今後の活動の更なる発展が期待できる。</p>	<p>南九州市 企画課  0993-83-2511</p>  <p>一大観光地となった釜蓋神社</p>